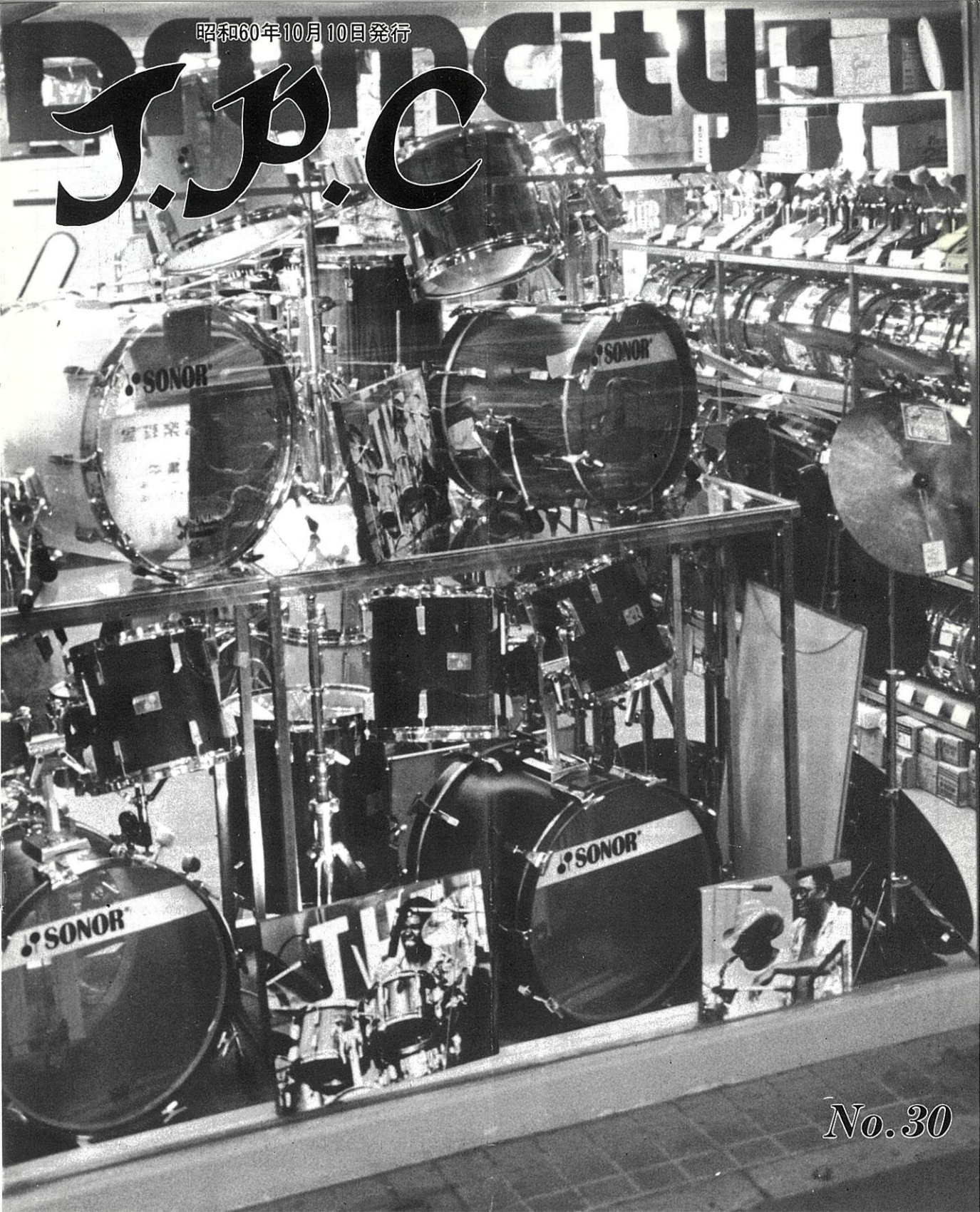


昭和60年10月10日発行

J.P.C

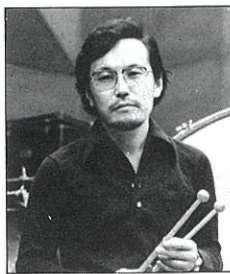


No. 30

打楽器あれやこれや…vol.7

岡田知之

NHK交響楽団打楽器奏者
国立音楽大学専任講師
東京芸術大学講師



ドラム・セット Drum set

おもにジャズやポピュラー音楽に使用するもので、一人でベース・ドラムやトムトム、スネアドラム、シンバルなどを演奏する打楽器一式のこと。セットの内容には定まったものはなく、太鼓の数やシンバルの枚数は演奏者の技術と、お金のかけかたによって異なる。

打楽器奏者を志す者はもとより、太鼓が好きの人が一度は叩いてみたいと思う楽器。両手両足をくまなく使いわける奏法に限度はなく、次から次へと新しい奏法が世界各地で生れている。小生も高校時代にドラムセットの奏者になりたくて、音楽大学に入れば色々教えてもらえるものと時の芸大教官の門を叩いたのであった。その面接の折、師曰く「なぜ打楽器をやろうと思ったのかね」私曰く「ドラムセットをやりたくて…」その時すでに白木秀雄というドラマーが芸大から誕生していて、その2代目でもなりそうだと思っていただけなのか、しかし芸大のレッスンでは到底ドラム・セットにまで手がまわらず、結局初志貫徹ならず。今日に至るまでドラムセットのプロ奏者や上手い人をうらやましく思いかつ敬意を表している次第である。

トリー・チャイム Tree chime

クリスマス・ツリーという日本の発音の習慣はあるがこの楽器はトリー・チャイムと名づけられている。金属の細い棒を20~30本、長さは30~10cm位のを順につり下げたもので、全体をなでるように擦るとさわやかなグリッサンドをともなった音色を出す。この楽器の不便な点は、演奏し終わっても自分勝手にチリンチリンと余韻を楽しまれるところにある。あわてて手で押さえようものなら音はとまるどころか余計鳴り響いたりする。T型の棒にフェルトなどを張りつけた専用のミュートを工夫したり、それらしきものが楽器についているのを見受けることがある。しかし、この楽器を用いる場合は余韻を響かせればなしにする効果をねらうことが多いのであまり神経質になる必要はない。

ナッカーラ Naggāra

金属や粘土、木などで作られた半球形の小さな片面太鼓。ヘッドはひもを用いて網のように胴に巻きつけて張ってある。ティンパニの祖先とみなされているこの太鼓は、紀元600年や5~6世紀に演奏している絵があるという記録があるぐらい古いものであるらしい。最も知られている事実は、1249年十字軍がエジプトのダミエッタを占領した時に十字軍の兵士、すなわちヨーロッパの人がはじめてこの太鼓を知りヨーロッパに持ちこみ、今日のティンパニに発展したものとされている。

現在はそのレプリカともいえる小さな釜太鼓が市販されているが、音質、音量などから特殊な使い方を除く以外一般的な楽器とはいえない。ナッカーラは国により時代によりそして大きさにより呼び方がいろいろあり、イギリスのネーカー、ロシアのナガラ、アラビアのナッカーラなど17以上の呼び方をもっている。

鏡鉦

ようはちと読み、シンバルに似た仏具の一つ。この楽器の持つ雰囲気合せシンバルで表現するよう指示した日本のオーケストラ曲もある。その際は、ジャンと打ち合わせたシンバルの響きが消えないうちに、両フチを回すように当て、ジリリリ……という感じの音をつくり出すよう要求される。

ヌート Noot

マトッカ Matka,ガタム Ghatam などとも呼ばれているインドの陶器製の丸い大きいつぼ。つぼの口を奏者の腹にあてたりはづしたりしながら側面を打ったり、口の部分を叩いて演奏する。大きさと画かれている模様などを活かしたくなる雰囲気を出しているが、殆んど真ん丸で安定が悪いため楽器以外には使い道のないつぼである。あまり販売されているものではないがインド楽器を取扱う店では時々見うけられる。

バス・マリмба Bass Marimba

通常のマリмбаよりもさらに低い音を得るために作られたマリмба。低音の音域は一定ではないが、低音になるにしたがって音板の中と長さが大きくなるのでおのづと限定されてしまう。さらに共鳴用のパイプも音程がさがるにつれて太く長くなるので音板の位置を踏み台にのって叩くぐらい高くなり、パイプが排気管のごとく曲げられたり、1本のパイプの中を2重構造にするなど、各メーカーは知恵をしばっている。このような大きい音板だから音をだすための撥も普通のものではなく、大きくて柔らかいものが必要となり、果物のアボカドに棒をつきさしたような大きさの撥を作って演奏に用いている。

バーヤ Baya

タブラと対で用いるインドの太鼓。タブラは木製の胴であるがバーヤは金属製である。タブラは皮の張力を調整する木片を胴にはさんであるがバーヤには調整用のものはない。鼓面はタブラよりやや大きく、ヘッドの調整用ペーストはタブラ同様ぬりつけてある。5本の指や手のひら全体で音をつくり出すタブラとバーヤは、最もよく知られているインドの太鼓の一つである。

岡田知之打楽器合奏団 —第12回演奏会—

—結成10周年記念—

1985年10月21日(月)

入場料

6:30 P M開演

¥2,500

abc 会館ホール

主催 岡田知之合奏団 協力 パール楽器製造株式会社

“我らパーカッション”

このコーナーは、全国の吹奏楽団、交響楽団の打楽器パートだけの自己紹介の場として、色々と交流を深めて行きたいと思います。

泰平中学校吹奏楽部

- A1: 興野さより (14)、黒岩真樹子 (14)、菊井珠光 (14)、新井由美 (14)、星野昌子 (14)、山本美裕喜 (14)
 A2: S.D. (ロジャース、ヤマハ)、Timp. (パール) Cym. (ジルジャン) 他
 A3: 日野元彦、猪俣猛、神保彰
 A4: 打楽器教則本 (全音)、ティンパニ教本 (音友)
 A5: No
 A7: Yes
 A8: これとってないのですが、全員笑い出すと止まらないのが悩みです!
 A9: 6人そろって14才ですが、最初の3人が3年で残りの3人が2年です。今度新しく2人メンバーが増えました。他の学校とどんどん交流を始めたいので、ぜひ是非! 「こういう練習 (活動) してます!」っていうお手紙ください! お願いします!!
 連絡先: 〒330 埼玉県大宮市本郷町1991
 泰平中学校吹奏楽部 興野さより



遠野高等学校吹奏楽部

- A1: 浜田弥 (18)、鈴木聖岳 (18)、赤岩正昭 (17)、増田真由美 (17)、水香久美子 (17)、阿部勝 (16)、佐々木和彦 (16)
 A2: S.D. (パール)、B.D. (パール)、Timp. (パール)、Cym. (ジルジャン、バイステ)、Drums (パール)、Glock. (パール)、Xylo. (ヤマハ)、Vib. (ヤマハ)
 A3: 猪俣猛
 A4: 3年生が教則本です!
 A5: No
 A7: Yes
 A8: ひとりひとりが個性豊かで、まとめるのが大変です。演奏中燃えてしまっ、思わず強く叩くこと。
 A9: 合奏中に“ござ”をひいて宴会さわぎをやってしまうきらわれパートです…。でも今年のアンサンブルコンテストでは自作の曲で挑戦するなど活発なパートでもあるのです!
 連絡先: 〒028-05 岩手県遠野市六日町3-17
 遠野高校吹奏楽部

質問事項

1. 氏名 (年齢)
2. 使用打楽器 (ブランド名)
3. 好きなプレイヤー (影響を受けたプレイヤー)
4. 使用している教則本
5. パート及び個人でレッスンを受けていますか? (Yes. Noで)
6. Yesの方、先生のお名前をお書き下さい。
7. 打楽器アンサンブルをやっていますか?
8. 打楽器パートとしての問題点、悩みなど…。
9. 打楽器パートか団のPRをどうぞ。

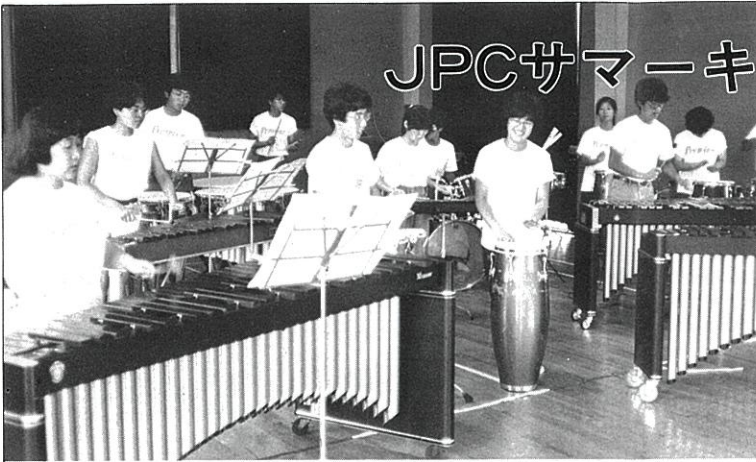


小松島高校吹奏楽部

- A1: 古川洋子 (16)、新井郁子 (16)、加林美知 (16)、油谷美幸 (15)、立川貴実子 (15)
 A2: S.D. (パール)、B.D. (ニッカン)、Drums (パール)、エレクトリック・ピアノ (ヤマハ)、コンガ、トライアングル、タンバリン、鈴
 A3: 福島義裕 (東京シティフィルハーモニック管弦楽団)
 A4: 打楽器教則本 (全音) 他
 A5: No
 A7: No
 A8: 吹奏楽部がまだできたばかりなので、楽器と人手が足りないこと。
 A9: できて1年程のクラブなので、本当に楽器が少なくてつらいとこなんですが、部員一同、力を合わせていっしょうけんめいがんばってます。1日もはやく松高プラスの名を世間に広げたいです。
 連絡先: 〒徳島県小松島市日開野町
 小松島高校吹奏楽部



JPCサマーキャンプ——Body Vibration Action 1(ichi) Part V——



今年で5回目を迎えたJPCサマーキャンプは、7月28日(土)～8月1日(日)まで昨年と同様山梨県河口湖畔の民宿「流石」で開催された。

チーフインストラクターは東京芸術大学助教授の有賀誠門氏、サブインストラクターは佼成ウィンドオーケストラの北野謙一氏。そして期待のゲストは演劇研究所の主宰をしていらっしゃる竹内敏晴氏。今回はマン・ツー・マンの指導ができるようにと定員を20名に抑えたのだが、このうち9名が昨年も参加している。

1. まず身体づくりから

いつもの通り、オリエンテーションからそのまま行動開始。床に腹這い掌だけで前進。始めのうちは良いが、疲れてくると肘を使ってしまい、やがて肘がすりむけて血が滲んでくる人もいる。痛みと疲れで前進が不可能になり、うつぶせになったまま動かない人さえ出てくる。そこで全員膝を曲げて仰向けになり、掌で床を叩いてリズムをとりながら腰を上下させる。5分～10分程続けた後再び掌での前進。すると不思議なことにスムーズに進む。小首をかき上げているメンバー達に有賀先生がおっしゃる。「どう? やり易いでしょう。不思議でしょう。どうしてだろうね。僕にもわからないんだ…」。

匍匐前進に飽きたら大空へジャンプ。跳び上がった時に膝を曲げて高く長くジャンプする。足の裏で床をパンと蹴る。膝をしっかり曲げると良い音とリズムが生まれる。

最後に人間に戻って歩く。恰好良く。分析してみると、顔を心持ち斜め上に上げて、ダン! と一発踏み込む。まず腰が、次にピンと伸びた体全体が前進する。すぐに体中をリラックスさせ2歩目への準備をする。これを意識して歩くのだが、常に腰を先行させるとトテモカッコイイ。日頃の2割増カッコ良く見るとと保障するから(?)皆さんも努力してみると良い。

ところで、体をピンと伸ばすとは一体どのような状態か、わかるようでわからない人が多い。この感覚を知るためには、椅子の上で仰向けになってみると良い。すると腰を頂点とし

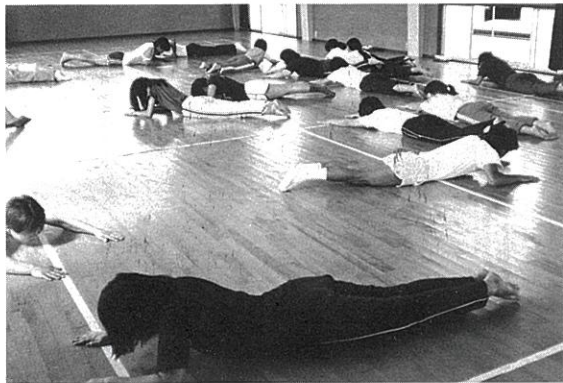
て体が弓なりにそる(体の力を抜かなきゃそらない)。極端だが、これが体が伸びた状態。いつもこの感覚を意識すると姿勢が良くなる。

明けて30日は、念入りに前日の復習をした後、足を前後にして腰をすえ、ドデカイ樽太鼓を叩くように両手を下から上へ、上から下へと動かす。腕は痛いし、腰の1点に全体重がかかるのでつらいこと。今年は体をリラックスさせるために体の伸縮に重点を置いたようで、この1日半は、最近流行りのストレッチングのようなものが多かった。そのせいか、リズムに乗って体を動かすことがスムーズに出来ていたようだ。

2. 竹内先生登場

まるで1日半のレッスンは、このためにあったのかと思われるほど、様々なところで偶然の一致、つながりを発見できた竹内先生のレッスン。例年のゲストの先生方は主に夜の講話をお願いし、体を動かすことは少なかったのだが、竹内先生のご要望で、午後と夜の半日レッスンしてくださった。

おもむろに1本の長い縄を取り出し「はい、縄飛びして」とおっしゃる。幼い頃を思い出して2人で縄をクルクルまわし順番に1跳びする。ワアワア、キヤアキヤア、ドッタンパッタン、ひっかけたのひっかかったのと大騒ぎ。竹内先生が「何故そんなに力いっぱい跳ぶの? ちよいとぐり抜ければ良いんだよ。体の力を抜いてちよいと」とおっしゃり、縄無しの縄飛びをする。いうなれば大人の(?)縄跳び。この時の「力を抜いてちよいと」は、恰好良く歩く時のリラックスの部





分と共通しているようだ。竹内先生は、肩の力が抜けると腕がどうなるかを具体的に教えてくださった。

子供に返ったところでもうひとつ。『めだかの学校』の大合唱……。そこでこの歌は誰が、どういう風景の中で、どう思っているのかという竹内先生の質問。多くの人が考えるように、『小川のはとりで、子供達が川の中をスイスイ泳いでいるメダカを見つけ、驚かないようにそっと覗き込んでいる』と皆が答え、そのつもりになって歌ってみると、皆小声になってしまう。今度は立場を変えて、川の中のめだか達が、人間を誘っている歌と考えてジュースチャーをつけながら歌い出すと活き活きして楽しい歌に一変する。ことばの解釈次第でこんなに変わるとは！

人それぞれがどのようにでも解釈できることばを“音”に置き換え、この“音”を床を叩いて表現し、会話するとどうなるだろうか。2人で向い合って座り、相手の表情を見ずにテーマを決めて床を叩き合う。トントン、パンパン、ドン、キュッキュク等と様々な“音”が出て来る。周りで見ている(聞いている)人達にも何となく言いたいことがわかるような気配がするので、皆大笑いだ。

夕食後は、ことば=気持ちを伝えること、選ばれた1人に対して全員背を向けて座る。彼は、いくつもの背中のひとつに向かって「ねえ！」とか「遊ぼう！」と声をかける。声をかけられた人が果たして自覚するかどうかというもののだが、なかなか当たらない。皆、自分ではないと思うのだ。発せられた声は、「あっちの方へ行った」り、「肩を素通りして行った」り、「後ろで落ちた」ように感じる人が多く、結局最後まで不通のままだった。“気持ちをこめたたたひとこと”は、100の知識よりも重いようだ。

最後に、『赤とんぼ』をことばひとつひとつを取り上げて考えながら合唱した。小さな歌が、自分を取り巻く世界と同化して大きな景色になって見えてくる。先生の「これで終わりです」の声に部屋へ戻ろうとする人はひとりも無く、またその場に座り込んで『海』や『おお牧場はみどり』を歌ったり、ひとしきりお話を聞いた。それぞれの部屋に戻っても、しばらくするとスタッフの部屋に誰からともなく集まり出し、夜中まで竹内先生のお話に耳を傾けていた。

3. 転がり出したら止まらない

さて、いよいよ楽器に触る時がやって来た。まずはスネアドラムを出し

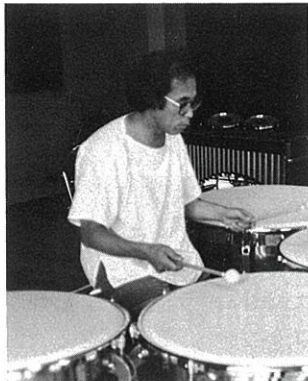
て来て慣れ親しむ。手で叩きながらあちこち歩きまわったり、誰かれかまわず会話したり。両腕で持ち、頭の上で上下させると姿勢が良くなるし、楽器の重さを身を持って知ることができると、何といても腕の力がつき、良いウォーミングアップになりそうだ。スティックを持ち出しランダムに思う存分叩き始める。皆の表情が輝き出す。そして楽器を全部出し終えアンサンブルの楽譜を受け取ると頂上に向けてひた走るのみ。手当たり次第楽器を集めて音を出し始めるグループ、スティックで床を叩き出すグループ、口三味線するグループ。希望のパートを割り当てられて喜ぶ人、青ざめる人。

4日目には仕上げに入った打ち合わせを始めるグループがあるかと思えば、「できない…」と沈みがちのグループもある。それでも、河口湖へ繰り出しボートに乗って命の洗濯をし、夜はバーベキューをたらふく食べれば力も湧いてくる。深夜の密かな練習と早朝のダメ押し練習を終えコンサートを迎える。緊張して堅くなっているグループもあったが、殆んど体がリラックスして、或いは、体をリラックスさせようと努力していて4日間の効果有りといったところ。コンサートの終りは飛び入りで入った『ローラー・ジュビリー』という、とてつもなく楽しい曲。皆手に手に色々な楽器を持ってあちこち動き出す。カーニバルが始まったようだ。

閉講式を終え、皆それぞれの思いを胸に、痛々しい傷を肘に、太鼓をひきずって帰路についた。

4. 今回使用したアンサンブル曲紹介

William Tel Overture (6人)	Prelude for Percussion (6人)
Allegre Muchacho (6人)	Encore In Jazz (7人)
Sabre Dance (8人)	Rondo Barock (8人)
Mau Mau Suite (8人)	Maypleleaf Rug (4人)
African Wellcome Piece (6人)	The Ice Cream Suite Rug (4人)
Tijuana Samba (8人)	PAL (4人)



Drumcity 情報

Drumcity 移転!!

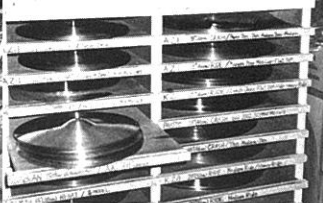
ドラムシティがコマキ楽器本店に移転し、より広く、より明るくなって皆様をお待ちしております!!



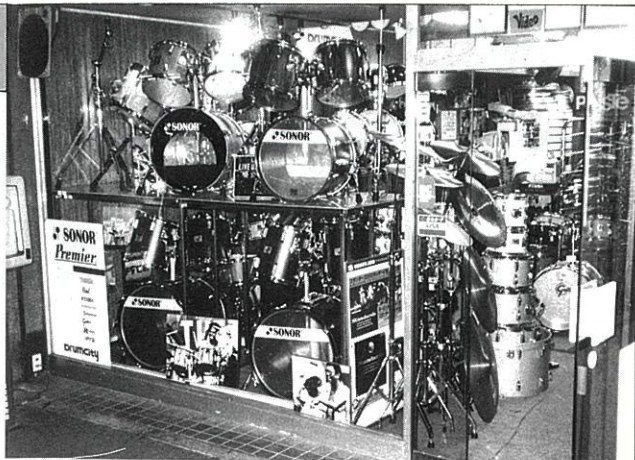
ソナー、プレミア、グレッッチ、スリンガーランド、パール、ヤマハ、タマ等所狭しと並べられた約20台のドラムセット



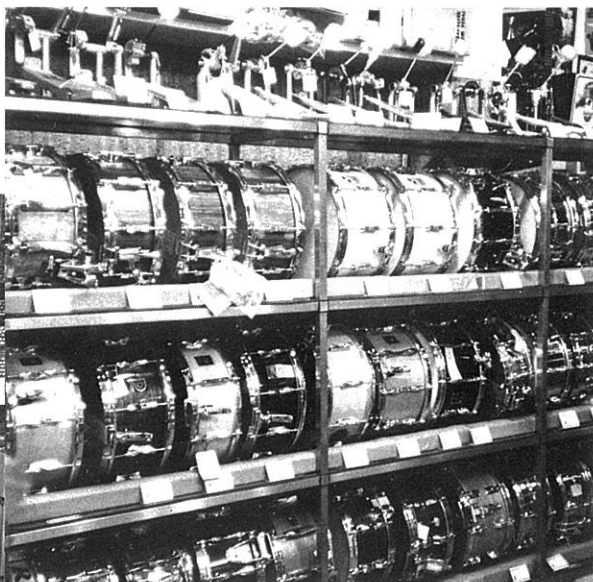
ソナー、プレミアを中心に40台のスネアドラムが並んでいる



日本初入荷のイスタンブールシンバルを始めとしてジルジャン、セイビアン、バイステ等500枚近い在庫のシンバル



歩道に面してソナー・ドラムセットをドーンと陳列!



その他ハードウェア類、ヘッド、スティック、各種パーツ等豊富に取り揃えております。また、JPC No28でご紹介したソニーのスタジオ・ラボ(Eタイプ)を試奏室として用意してありますから心ゆくまで皆様の音をお確かめください。

住所、電話番号は次のとおり変更になりますのでお間違えのないようお願いいたします。

〒111 東京都台東区雷門1-16-4

Tel 03-842-6044 (代)



ドラムシティ移転後の武藤ビル地下は、大型楽器のショールームJPC PART IIとして近くオープンいたします。マリンバ、ヴィブラフォン、シロフォン、ティンパニをフロア一杯に陳列し、壁面にはKMKドラをはじめタイゴング等を展示。その他リペアコーナー、試奏室も完備されてます。乞ご期待!! (10月19日(土)開店予定)

コンサートと催し物ご案内

国立音楽大学打楽器アンサンブル

—第16回定期演奏会—

60年10月12日(土) P.M.5:00

演奏：国立音楽大学打楽器アンサンブル

指揮：岡田知之

オルガン：トーマス・マイヤー＝フィービッヒ

「序曲」——J・ベック

「カタフォニクス」——L・ヴァイナー

「摸み」——溝上日出夫 他

入場料：700円

'85パーカッション・フェスティバル

60年10月13日(日) P.M.2:00 草月ホール

演奏：長游幼稚園児

プログラム

長谷川勤兵衛、芝田正利
(歌舞伎座)

「アメリカン・パトロール」

新日本フィルメンバー

「アンコール・イン・ジャズ」

日本打楽器協会会員有志

「木挽唄」——他

入場料：一般2000円 学生・日本打楽器協会会員1000円

昭和60年度文化庁芸術祭参加

パーカッション・メッセージ・パートII

有賀誠門

オルガン・ハーブ・
ストリングオーケストラと共に

オルガン/トーマス・マイヤー＝フィービッヒ
ハーブ/本間繁樹



PROGRAM

J.S.BACH 平均律クラヴィーア集 第2巻 第15番

モーツァルト ピアノ協奏曲第20番

C.アルカン カンターレ

ドビュッシー 静かなる夜の音楽

下村—三郎—マーチ(北原山房)

リチャード・マクスマン—コンチネンタル

マックス・バリス—マリンバの音楽

1985年10月21日(月) 6時30分開演 石橋メモリアルホール

¥3,000(前売) ¥5,500(当日)

マリンバ/藤井むつ子 マーチ/中川龍二

Okuda Percussion Ensemble

岡田知之打楽器合奏団

第12回演奏会 <結成10周年記念>

1985年10月21日(月)

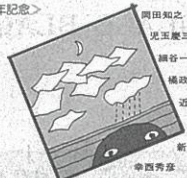
6:30pm

abc会館ホール(芝公園)

12th Concert 10th Memorial Concert

21. October. 1985 6:30pm

abc Hall (Shiba park)



岡田知之
児玉繁三
横谷一郎
橋政俊
近藤敏夫
新沢義典
新谷祥子
◎西野彦

●HAYASHI—安達元彦(1920年頃)

●HAYASHI—山本武(1920年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

●結成10周年記念—田中賢(1975年頃)

85'楽器フェア

60年10月18日(金)~20日(日)

科学技術館

10:00A.M.~5:00P.M.(連日)

年に一度の楽器の万博!

19日と20日はロックコンサートなど盛り沢山のコンサートが催されます! コマキ楽器のブースにはソナードラムセットが勢揃い! ソニー・スタジオ・ラボを設置して試奏可!

入場料: 前売400円 当日500円



'85 楽器フェア

10/18(金) 19(土) 20(日)

10:00~5:00 北ノ丸公園 科学技術館

入場料=400円(前売) 500円(当日)

主催=85楽器フェア協会

ワクワクするね、楽器の万博。

●藤井むつ子マリンバリサイタル リサイタル—三善晃との出会い—

60年10月26日(土) 6:30P.M.

石橋メモリアルホール

「会話」

「協奏曲練習曲」

「神様への手紙」

他

入場料：一般3000円 学生2500円



Mutsuko FUJII Marimba Recital

◀ 共鳴板 ▶

—CHICAGO BLACK—

スカット一発決めればええ
スカット力を抜けばええ
スカット朝日に笑えばええ
スカット目ん玉開けばええ

息を吸え 息を吐け スーハーハー
ハイ吸って ハイ吐いて スハッハー
息を吸え 息を吐け スーハーハー
ハイ吸って すって 吸って Stop the Breathing!

スカット一発決めればええ
スカット風と歌えばええ
スカット窓を開ければええ
スカット耳をほじくりゃええ

スカット一発決めればええ
スカットおもてに出ればええ
スカットそこに在ればええ
スカットと全部脱いでみな

(No.2629 駄天狗)

JPCからお知らせ&お願い

1. JPC会員制度が成立して今年で10年目を迎えます。お陰様で会員数も年々増え続け、現在5200番を越えようとしています。しかし、会員の方々の中には、継続の意志がありながら数年にわたって会費未納の方がおります。お手持ちのカードが今年末で期限切れとなるのに伴い、昭和61年より会費納入規約を下記のように定めますのでご協力ください。

記

1. 会費(年間1000円)の納入期限は毎年末までとする
1. 期限までに納入なき場合は自動的に除名される
1. 何らかの理由により納入が遅れた場合理由如何によつては例外を認める
1. 新入会、再入会とも入会金を1000円とする。従つて初回納入金額は2000円となる。

以上

2. 60年分会費未納の方はお早めに納入してください。新カードは、今年末までにご入金の方のみ配布し、ご入金無き場合は、前項の規約により退会扱いさせていただきます。また、新カードは、61年1月中にお手元に発送する予定です。

3. JPCでは、より良い店づくり、会員制度の充実、また、新たな資料作成のために、今回アンケートにご協力をお願いいたします。下記質問事項にお答えのうえ、同封のハガキにてご返送ください。

QA: あなたの職業は? 学生、お勤めの方は、学校名、勤務先及び電話番号をお書きください。

1. 学生(a.小 b.中 c.高 d.大 e.音高 f.音大 g.専門学校)
2. 会社員 3. 教師(a.音楽専任 b.音楽部顧問 c.その他)
4. プレイヤー(a.オーケストラ b.吹奏楽 c.スタジオ b.ライブ e.その他)
5. その他

QB: あなたの演奏ジャンルは?

1. オーケストラ 2. 吹奏楽 3. マーチング 4. ジャズ 5. ロック 6. フュージョン 7. ニューミュージック 8. ラテン 9. 歌謡曲 10. 邦楽 11. その他

QC: あなたの所有楽器は? (メーカー名も)

1. ピアノ 2. 電気・電子オルガン 3. デジタル楽器(a.キーボード b.リズムマシン c.その他) 4. ギター(a.アコースティック b.エレクトリック) 5. ドラムセット 6. 鍵盤打楽器(a.マリンバ b.ヴィブラフォン c.シロフォン d.グロッケン e.その他) 7. スネアドラム 8. 管楽器(a.金管() b.木管() c.その他()) 9. 小物打楽器() 10. その他

QD: 今後JPC、Drum City、コマキ楽器で取り扱ってほしい商品は?

QE: JPC会報に対するご意見ご希望をお書きください。

*各回答とも“その他”やメーカー名等、できる限り詳しくお書きください。

4. 休業日のお知らせ: 10月22日、23日、12月31日は休業致します。
5. No.29◀JPCだより▶で新谷祥子さんを「管打コンクール3位入賞の」と紹介しましたが、2位入賞の誤りですのでお詫びして訂正いたします。

編集後記

目が覚めたら秋!!
何という転換、何という早業!! テンポについていけない……夏は何処へ行ったんだ……。毎朝部屋の前の朝顔は誇らしげに咲き続けているのに、街並の中を歩いていると油のたっぷり乗ったサンマを焼いているにおいや、遠慮勝ちなキンモクセイの香りが漂ってくるからやっぱり夏の逆転優勝は望めそうもない……(阪神は勝ちそうだけど)

10月はコンサート目白押し。何処かのハンバーガーショップよろしく、こちらのコンサートもいかがですか? ご一緒にあちらのコンサートは? てな感じ。いくら芸術の秋とはいえ困るんですね、実際。例えば、プレイヤーの方は大変かもしれないけれど、くそ暑い7月や8月、おめでたい1月、ケツもふっ飛びそうなくらい寒い(これはサリンジャー先生のお言葉です)2月とかにコンサートを開いてくださると我々はすべてのコンサートに行く用意ができるんですかね。

それはそうと、今年は4回の発行に終わった会報です。いろいろとご不満もあると思います。特に今年はDRUM CITY情報が手薄でした。反省します。DRUM CITY FUNの方々はきつと風船のように膨れていることでしょうか……(キヤール視線がコワイ!) 来年は頑張りますから破裂しないでね……。アドヴァイスもくださいええ、えらく気が早いけど、よ、良いお年を……!!

—M—

昭和60年10月10日発行

発行所 J.P.C.事務局

〒一一一 東京都台東区西浅草一七七一

(武藤ビル2F)

電話 (〇三)八四五三〇四(一代)

郵便振替口座 東京九一五三一五

加入者名 (株)コマキ楽器